

学会参加者へのご案内

1. 受付

学会参加受付は下記の通り行います。

受付場所	11月28日（金）	11月29日（土）	11月30日（日）
福岡国際会議場 1F エントランスホール	10：30～17：30	7：45～17：00	7：45～14：00

2. 学会参加費

参加区分	事前参加費 2025年10月1日～11月27日	当日参加費 2025年11月28日～11月30日
医師・企業・一般（会員）	8,000円	10,000円
医師・企業・一般（非会員）	8,800円	11,000円
メディカルスタッフ・大学院生 ^{※1} （会員）	7,000円	8,000円
メディカルスタッフ・大学院生 ^{※1} （非会員）	7,700円	8,800円
初期研修医 ^{※1}	無料	無料
大学生・留学生 ^{※2}	無料	無料

※1：「初期研修医証明書（Word）」をホームページよりダウンロードして必要事項をご記入の上、登録時にアップロードをお願いします。学生証および初期研修医証明書のご提出がない場合は一般区分となり、一般の参加料金を申し受けます。

※2：登録時に学生証のアップロードをお願いします。

【税区分】学会員：不課税／非会員：課税（10%）

3. プログラム・抄録集

抄録集はデジタル版のみの発行となります。会員の皆様には学会サイトでご提供いたします。非会員の方は MyPage より購入いただけます。（1冊2,200円（消費税込））

4. 会員懇親会

会員懇親会の開催はございません。

その代わりとして「おもてなしスペース」を2箇所設けておりますので、軽食等のご提供をお楽しみください。

5. クローク

会場内にご用意はございますが、感染対策のためできる限りご宿泊施設にお預けいただくなどご協力をお願いします。受付時間は下記のとおりです。

受付場所	11月28日（金）	11月29日（土）	11月30日（日）
福岡国際会議場 1F エントランスホール	10：30～18：30	7：45～18：00	7：45～15：30

6. 写真撮影・ビデオ録画について

会期中、発表演題に関する写真撮影・ビデオ録画は一切禁止します。

7. LIVE 配信について

今回の学術集会では第1会場のみライブ配信を行います。(ランチョンセミナー除く)

対象セッションはホームページ上でお知らせいたします。

※後日の配信はございません。

下記プログラムはLIVE配信での単位取得が可能です。

第73回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー (Advanced) 【参加者15単位】

11月28日 (金) 15:00~18:00

抗菌化学療法認定薬剤師認定委員会が指定するプログラム 【参加者10単位】

パネルディスカッション5『若手薬剤師でASを考えよう』

11月29日 (土) 15:50~17:20

抗菌化学療法認定医・指導医・認定歯科医師制度 【参加者10単位】

シンポジウム8『発熱性好中球減少症の抗微生物薬適正使用を再考する』

11月30日 (日) 9:00~10:30

日本感染症学会指導医講習会 【参加者10単位】 (シンポジウム9のみ)

シンポジウム9『 β -ラクタマーゼ産生菌感染症の現状と対策』

11月30日 (日) 10:40~12:10

外来抗感染症薬認定薬剤師制度委員会が指定するプログラム 【参加者5単位】

シンポジウム11『外来での抗菌薬適正使用を考える』

11月30日 (日) 13:20~14:50

第498回 ICD 講習会

「SSI 予防エビデンスの最前線」

11月30日 (日) 15:30~17:00

8. 単位取得

第95回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第73回日本化学療法学会西日本支部総会の参加者は、下記の制度の単位を取得することができます。

※学会参加証(氏名を記載したネームカード)は1)~10)申請に必要ですので大切に保管してください。
合同開催のため、学会参加単位を2学会参加分としてカウントすることはできません。

- 1) 日本感染症学会専門医制度更新5単位、筆頭演者は更に3単位
- 2) 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医・指導医認定制度5単位
- 3) 日本化学療法学会抗菌化学療法認定歯科医師・指導医認定制度5単位
- 4) 日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師制度5単位
- 5) 日本化学療法学会外来抗感染症薬認定薬剤師制度2単位
- 6) ICD 制度協議会更新5単位、筆頭演者は更に2単位
- 7) 日本看護協会の自己研鑽ポイントとして申請が可能3単位
- 8) 認定臨床微生物検査技師(CMTCM) 3単位
- 9) 感染制御認定臨床微生物検査技師(ICMT) 3単位
- 10) 日本医真菌学会専門医更新2単位、司会・座長・演者(いずれか)は更に2単位

■日病薬病院薬学認定薬剤師制度

事前の申し込みは必要ありません。

キーワードを1日ごとに2回（入場・退場）配布いたしますので、各日総合受付へお立ち寄りください。

なお、お渡しの際、学会参加証にチェックいたしますので、必ず学会参加証をお持ちください。

お渡ししたキーワードは、病院薬学研修管理システム（HOPESS）よりご自身にてご登録ください。

配布日時	入場	退場
11月28日（金）	11：30～15：00	17：00～18：30
11月29日（土）	8：00～9：30	17：00～18：30
11月30日（日）	8：00～9：30	14：00～15：30

[取得単位数]

11月28日（金）：3単位 11月29日（土）：4単位 11月30日（日）：4単位

[お問い合わせ先]

日本病院薬剤師会総務課

TEL：03-3406-0491 E-mail：bynintei@jshp.or.jp

※現地参加のみとなります。

■日病薬感染制御専門・認定薬剤師認定制度

※現地参加のみとなります。

以下のセッションが、日本病院薬剤師会が認定する「感染制御領域の講習会」1単位／2時間として承認されています。事前申し込みは必要ありません。各セッション終了後、会場前にて講演会受講証を配布いたします。

・特別企画『抗微生物薬の安定供給に向けて』

11月28日（金）13：00～14：30 第2会場

・パネルディスカッション4『抗菌薬適正使用の評価指標について多角的に再考する』

11月29日（土）9：00～10：30 第1会場

・シンポジウム10『侵襲性真菌症』

11月30日（日）15：30～17：00 第3会場

[お問い合わせ先]

日本病院薬剤師会 事業課

TEL：03-3406-0485 E-mail：jigyo@jshp.or.jp

9. 日本感染症学会指導医講習会

※現地（シンポジウム7）およびライブ配信（シンポジウム9）

【参加者10単位】

シンポジウム7『感染症における迅速診断検査の現況と今後の課題』

11月29日（土）15：50～17：20 第3会場（※現地参加のみ）

シンポジウム9『 β -ラクタマーゼ産生菌感染症の現状と対策』

11月30日（日）10：40～12：10 第1会場（※ライブ配信も対象）

事前参加申込は不要です。

■現地参加

プログラム開始10分前から、会場前にて出席票を配布します。プログラム終了後に、会場前にて出席票を回収します。

※10分以上経過してからの入室、および終了時刻の10分以上前に退室された場合は単位を付与することが出来ませんのでご注意ください。

■ライブ配信視聴

WEB 視聴ページよりご視聴ください。視聴ログを確認し、指定した時間内にご視聴いただきました場合には、後日感染症専門医制度審議会より登録完了メールをお送りいたします。指定した時間内に

ログの記録がなかった場合は単位を付与することが出来ませんのでご注意ください。

10. 抗菌化学療法認定医・指導医・認定歯科医師制度審議会

※現地及びライブ配信

【参加者10単位】

シンポジウム8『発熱性好中球減少症の抗微生物薬適正使用を再考する』

11月30日（日）9：00～10：30 第1会場

事前参加申込は不要です。

■現地参加

プログラム開始10分前から、会場前にて出席票を配布します。プログラム終了後に、会場前にて出席票を回収します。

出席票のご提出がない場合は出席とはみなされませんので、ご注意ください。

10分以上の遅刻・早退は単位を付与することが出来ません。

■ライブ配信視聴

WEB 視聴ページよりご視聴ください。

視聴ログを確認し、指定した時間内にご視聴いただきました場合には、後日ご自身の配信サイトから受講証を発行いただけます。指定した時間内にログの記録がなかった場合は単位を付与することが出来ませんのでご注意ください。

※10分以上経過してからの入室、および終了時刻の10分以上前に退室された場合は単位を付与することが出来ませんのでご注意ください。

※受講証のダウンロード期限：2025年●●月●●日（●）まで

（期間までにダウンロードいただけない場合、発行は出来かねますので、ご注意ください。）

11. 抗菌化学療法認定医・指導医・認定歯科医師制度審議会が【推薦する】プログラム

※ライブ配信はございません。

【参加者5単位】

スポンサードシンポジウム4（新薬シンポジウム）『新しい肺炎球菌ワクチン キャップボックス® の使い方 - 肺炎球菌ワクチン、さらにその先へ』

11月29日（土）13：40～15：40 第2会場

事前参加申込は不要です。

プログラム開始10分前から、会場前にて出席票を配布します。プログラム終了後に、会場前にて出席票を回収します。

出席票のご提出がない場合は出席とはみなされませんので、ご注意ください。

10分以上の遅刻・早退は単位を付与することが出来ません。

12. 抗菌化学療法認定薬剤師認定委員会が指定するプログラム

現地およびライブ配信

【参加者10単位】

パネルディスカッション5『若手薬剤師でASを考えよう』

11月29日（土）15：50～17：20 第1会場

事前参加申込は不要です。

■現地参加

・プログラム開始10分前から、会場前にて出席票を配布します。プログラム終了後に、会場前にて出席票を回収します。

出席票のご提出がない場合は出席とはみなされませんので、ご注意ください。

10分以上の遅刻・早退は単位を付与することが出来ません。

■ライブ配信視聴

WEB 視聴ページよりご視聴ください。

視聴ログを確認し、指定した時間内にご視聴いただきました場合には、後日ご自身の配信サイトから受講証を発行いただけます。指定した時間内にログの記録がなかった場合は単位を付与することが出来ませんのでご注意ください。

※10分以上経過してからの入室、および終了時刻の10分以上前に退室された場合は単位を付与することが出来ませんのでご注意ください。

※受講証のダウンロード期限：2025年●●月●●日（●）まで

（期間までにダウンロードいただけない場合、発行は出来かねますので、ご注意ください。）

13. 外来抗感染症薬認定薬剤師制度委員会が指定するプログラム

※現地およびライブ配信

【参加者5単位】

シンポジウム11『外来での抗菌薬適正使用を考える』

11月30日（日）13：20～14：50 第1会場

事前参加申込は不要です。

■現地参加

・プログラム開始10分前から、会場前にて出席票を配布します。プログラム終了後に、会場前にて出席票を回収します。

出席票のご提出がない場合は出席とはみなされませんので、ご注意ください。

10分以上の遅刻・早退は単位を付与することが出来ません。

■ライブ配信視聴

WEB 視聴ページよりご視聴ください。

視聴ログを確認し、指定した時間内にご視聴いただきました場合には、後日ご自身の配信サイトから受講証を発行いただけます。指定した時間内にログの記録がなかった場合は単位を付与することが出来ませんのでご注意ください。

※10分以上経過してからの入室、および終了時刻の10分以上前に退室された場合は単位を付与することが出来ませんのでご注意ください。

※受講証のダウンロード期限：2025年●●月●●日（●）まで

（期間までにダウンロードいただけない場合、発行は出来かねますので、ご注意ください。）

14. 第45回症例から学ぶ感染症セミナー

11月30日（日）9：00～11：00 第2会場

※当セミナーは日本化学療法学会抗菌化学療法認定医・指導医制度「審議会が推薦する抗菌薬適正使用」に関するプログラム（5単位）」に該当します。

・事前申し込みが必要です。

・セッション開始後10分以降の入室とセッション終了10分以上前の退出は単位付与出来ませんのでご注意ください。

15. 第73回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー（Advanced）

現地およびライブ配信

【参加者15単位】

11月28日（金）15：00～18：00 第1会場

■現地参加

現地参加の場合は事前参加申込が必要となります。参加ご希望の場合は、必ずお申し込みください。

受付時に合同学会参加証および抗菌薬適正使用生涯教育セミナー参加証をご提示ください。

【参加申込方法】日本化学療法学会ホームページ（<https://www.chemotherapy.or.jp>）よりお申し込みください。

申込締切日：11月20日（木）17：00

※電話、ファックス等による受付はいたしません。

※セミナーの申し込みをキャンセル、または WEB 参加に変更される場合は日本化学療法学会事務局までお知らせください。

※30分以上の遅刻・早退は単位を付与することが出来ません。

■ライブ参加

事前の申し込みは必要ありません。

WEB 視聴ページよりご視聴ください。

WEB の視聴ログを確認し、指定した時間内にご視聴いただきました場合には、後日、ご自身の配信サイトから受講証を発行いただけます。

指定した時間内にログの記録がなかった場合は単位を付与することが出来ませんのでご注意ください。

※合同学会の参加登録は11月28日（金）12：00までに行ってください。

※30分以上経過してからの入室、および終了時刻の30分以上前に退室された場合は単位を付与することが出来ませんのでご注意ください。

※受講証のダウンロード期限：2025年●●月●●日（●）まで

（期間までにダウンロードいただけない場合、発行は出来かねますので、ご注意ください。）

16. 第498回 ICD 講習会

「SSI 予防エビデンスの最前線」

11月30日（日）15：30～17：00 第1会場

参加には事前申込および学会参加費とは別に ICD 講習会受講料（550円）の支払が必要です。

詳細につきましては、ICD 制度協議会 HP（<http://www.icdjc.jp/>）をご覧ください。

【ICD 講習会に関する問合せ先】

ICD 制度協議会事務局

URL： <http://www.icdjc.jp/inquiry.html>

TEL：03-5842-5845 FAX：03-5842-5846

E-mail： icd@theia.ocn.ne.jp

17. 日本感染症学会西日本地方会学術奨励賞のご案内

日本感染症学会西日本地方会学術集会では40歳以下（発表当日）の筆頭発表学会員を学術奨励賞の授与対象としています。

日本感染症学会西日本地方会 学術奨励賞内規

平成11年10月22日制定

平成14年11月09日改定

平成26年04月03日改定

平成27年10月15日改定

平成29年10月27日改定

令和02年11月06日改定

令和05年04月29日改定

1. 選考対象者および受賞者

受賞者については当該の西日本地方会総会で発表された一般演題のうち、基礎分野と臨床分野から発表日時点で40才以下の演者を選考対象とし、その中から基礎部門1名、臨床部門2名以内をえらぶものとする。ただし、過去に受賞した演者および、すでに学会誌等に受理された内容の演題は選考対象としない。

2. 選考方法

事前に西日本地方会学術奨励賞選考委員会で、抄録を査読し選別された演題について、基礎部門と臨床部門の西日本地方会学術奨励賞選考セッションを構成する。座長1名と、選考委員会から2名（難しい場合は少なくとも1名）、学術集会長が指名する1名（選考委員会委員が1名のみの場合は学術集会長が指名する2名）の計4名で採点を行う事を原則とする。点数方式で当該演題を採点し、採点結果をもとに選考委員会で受賞者の選考結果を学術集会長および地方会代表へ報告し、承認を得る。

3. 発表と表彰

学会期間中に受賞者を発表し、その後に会場内に掲示する。次年度の西日本地方会学術集会の受賞講演セッションにおいて、地方会代表が表彰状と副賞を授与する。

4. 副賞

副賞は賞金とし、1名につき5万円とする。

5. 受賞者の義務

受賞者は次年度の西日本地方会総会の抄録集に1,500字程度の抄録を掲載するものとする。

また受賞者はできるだけ早い機会に学会誌等に投稿し、その論文に本学会の学術奨励賞を受賞した研究であることを明記するものとする。投稿した論文の別冊を西日本地方会事務局へ送付する。

18. 第94回日本感染症学会西日本地方会 学術奨励賞 受賞講演

<基礎分野>

「アスペルギローマの排除にかかわるマクロファージの解析」

濱島 良介（京都府立医科大学 感染制御・検査医学教室）

<臨床分野>

「新型コロナウイルスワクチン連続接種における副反応の推移および接種後の発熱と特異的抗体反応の関連性」

谷 直樹（福岡市民病院 感染症内科）

「メロペネムへの escalation を要したタゾバクタム / ピペラシリン初期治療例の全例調査」

川口 アエ（富山大学附属病院 感染症科）

代理発表者：長岡 健太郎（富山大学附属病院 感染症科）

19. 日本化学療法学会西日本支部 支部長賞・支部奨励賞および活性化委員会特別賞のご案内

日本化学療法学会西日本支部総会では2006年度より、下記の要綱に従い、西日本支部支部長賞・支部奨励賞および活性化委員会特別賞を選定いたしております。

日本化学療法学会西日本支部支部長賞・支部奨励賞・活性化委員会特別賞要綱

(目的)

第一条 日本化学療法学会西日本支部（以下、化療西支部と略す）は、学術集会の活性化を目的として、化療西支部総会で発表された一般演題を基礎演題と臨床演題とに分け、それぞれの中から、最も優秀な演題に日本化学療法学会西日本支部支部長賞（以下、支部長賞と略す）および賞金、次点に日本化学療法学会西日本支部奨励賞（以下、奨励賞と略す）および賞金、残る演題のうち医師・歯科医師以外の職種で最も優秀な演題に日本化学療法学会西日本支部活性化委員会特別賞（以下、活性化委員会特別賞と略す）および賞金を授与する。支部長賞および奨励賞は基礎と臨床それぞれ2題が、活性化委員会特別賞は1題が選考される。

(対象)

第二条 受賞の対象は当該年の化療西支部総会で発表した一般演題とし、発表時点で40歳以下の化療西支部所属会員とする。同一個人は、支部長賞・奨励賞・活性化委員会特別賞を合わせて計2回まで受賞できる。

2. 演題内容は過去に学会発表もしくは投稿されたものと同一であってはならない。もしこの規定に抵触する演題が受賞候補に推薦された場合（活性化委員会推薦演題セッションにノミネートされた場合）は、すみやかに化療西支部事務局に申し出ることとする。

(賞金)

第三条 賞金は、当該年度の化療西支部予算の範囲内とする。

2. 支部長賞は1件10万円、奨励賞は1件7万円、活性化委員会特別賞は1件5万円を授与することとする。

(選考)

第四条 選考は、複数の当該化療西支部総会プログラム委員および同会長が指名する審査委員による審査結果を基に、会長が決定する。選考結果は、当該総会終了後の日本化学療法学会雑誌に掲載するとともに、ホームページに公開する。

(受賞に対する義務)

第五条 受賞者はその研究成果を日本化学療法学会雑誌、Journal of Infection and Chemotherapyまたは、他の学術雑誌のいずれかに筆頭著者として投稿する。日本化学療法学会雑誌以外の雑誌に投稿した場合は、その原著が受け付けられた時点で、1600字程度の概要を日本化学療法学会雑誌に載せる。

2. 本賞を受けた研究を原著にする際には、受賞した旨を、付記する。

3. 英文誌に投稿する際の各賞の英語表記は以下の通りとする。

- 支部長賞：“award in the category of clinical/basic research conferred by the director of the west Japan branch”
- 支部奨励賞：“encouraging award in the category of clinical/basic research conferred by the west Japan branch”
- 活性化委員会特別賞：“special award conferred by the vitalizing committee of the west Japan branch”

(実施)

第六条 本要綱は、2006年12月に制定し、支部長賞と支部奨励賞は2006年度の第54回化療西支部総会から、活性化委員会特別賞は2009年度の第57回化療西支部総会から実施する。

(令和6年12月1日改訂)

20. 第19回日本化学療法学会西日本支部

支部長賞

<基礎部門>

「TRPV1を標的とした肺炎球菌の経鼻腔的中枢神経感染制御の試み」

酒谷 英樹（和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科）

<臨床部門>

「MRSA 伝播調査におけるコアゲノム MLST の有用性の評価」

村田 美香（長崎大学病院 検査部）

支部奨励賞

<基礎部門>

「末梢血検体を用いたデジタル PCR による大腸菌菌血症の診断」

北川 浩樹（広島大学病院 感染症科）

<臨床部門>

「TAZ/PIPC と SBT/ABPC が血清カリウム低下に与える影響および低下に関連する因子の調査」

田代 渉（大分大学医学部附属病院 薬剤部）

第16回活性化委員会特別賞

「小児患者におけるスルファメトキサゾール・トリメトプリム合剤の有効性と安全性の評価」

加藤 秀雄（三重大学医学部附属病院 薬剤部）